

平成 23 年度ダイオキシン類調査地点(大気)



平成 23 年度ダイオキシン類環境調査(大気)

●大気

調査地点名	所在地	濃 度 (pg-TEQ/m ³)					環境基準
		春季 (H23.5.18 ~25)	夏季 (H23.7.21 ~28)	秋季 (H23.10.19 ~26)	冬季 (H24.1.12 ~19)	年平均 値	
さいたま市役所	浦和区常盤 6-4-4	0.074	0.030	0.061	0.071	0.059	0.60
農業者トレーニングセンター	緑区大崎 3156-1	0.36	0.037	0.066	0.18	0.16	
大宮区役所	大宮区大門町 3-1	0.044	0.029	0.067	0.034	0.044	
膝子自治会館	見沼区膝子 623	0.086	0.032	0.14	0.10	0.090	
穂積コミュニティ会館	西区峰岸 13	0.031	0.019	0.079	0.096	0.056	
城南測定局	岩槻区笹久保 577	0.087	0.033	0.052	0.15	0.081	
平 均 値		0.11	0.030	0.078	0.11	0.082	

まとめ…平成 23 年度年間調査における大気中のダイオキシン類濃度は年平均 0.044~0.16 pg-TEQ/m³でした。

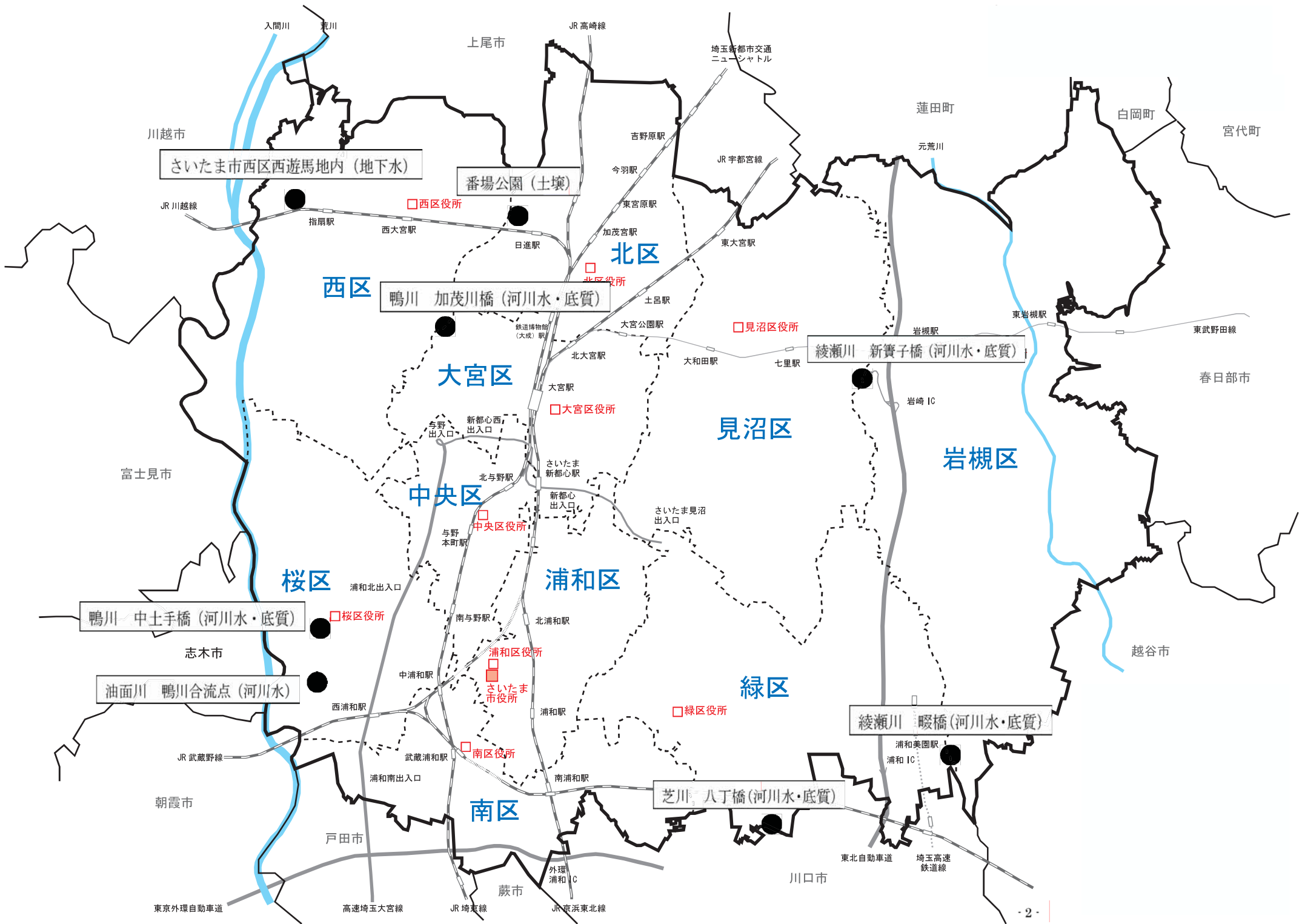
(用語解説)

・ダイオキシン類 :ダイオキシン類対策特別措置法では次の 3 種をダイオキシン類とするとされています。

- ① ポリ塩化ジベンゾフラン ②ポリ塩化ジベンゾ-パラジオキシン
- ③ コプラナーポリ塩化ビフェニル

・pg(ピコグラム):1ピコグラム=1兆分の1グラム

・TEQ :毒性等量。ダイオキシン類は種類ごとに毒性が異なるため、最も毒性の強いダイオキシンとされる 2,3,7,8-TCDD の毒性にその他のダイオキシン類の毒性を換算して評価します。



平成 23 年度ダイオキシン類環境調査(河川水・河川底質・土壌・地下水)結果の概要

● 河川水

河川名	調査地点	調査日	濃度 (pg-TEQ/L)	平均値(pg-TEQ/g)
油面川	鴨川合流点	H23.7.27	0.39	0.20
		H23.10.27	0.13	
		H24.1.28	0.077	
綾瀬川	啜橋	H23.10.27	1.6	0.92
		H24.1.28	0.23	
綾瀬川	新箕子橋	H23.10.27	0.94	0.57
		H24.1.28	0.19	
芝川	八丁橋	H23.10.27	0.94	0.67
		H24.1.28	0.39	
鴨川	加茂川橋	H23.10.27	0.32	0.21
		H24.1.28	0.094	
鴨川	中土手橋	H23.10.27	0.45	0.34
		H24.1.28	0.23	
環境基準		年平均値:1pg-TEQ/L 以下		

● 河川底質

河川名	調査地点名	調査日	濃度 (pg-TEQ/g)	環境基準
綾瀬川	啜橋	H23.10.27	14	150pg-TEQ/g 以下
	新箕子橋	H23.10.27	17	
芝川	八丁橋	H23.10.27	4.3	
鴨川	加茂川橋	H23.10.27	11	
	中土手橋	H23.10.27	1.3	

● 土 壤

調査場所	所在地	調査日	測定値 (pg-TEQ/g)
番場公園	北区日進町	H23.10.3	0.20
環 境 基 準			1000pg-TEQ/ g 以下

● 地 下 水

所在地	調査日	測定値 (pg-TEQ/ ℓ)
西区西遊馬地内	H23.10.3	0.015
環 境 基 準		1pg-TEQ/ ℓ以下

まとめ・・・調査を行っている全項目について、全調査地点で環境基準を満たしました。

(用語解説)

- ・ダイオキシン類：ダイオキシン類対策特別措置法では次 3 種をダイオキシン類とするとされています。
 - ① ポリ塩化ジベンゾフラン
 - ② ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン
 - ③ コプラナーポリ塩化ビフェニル
- ・ p g (ピコグラム)：1 ピコグラム=1 兆分の 1 グラム
- ・ T E Q : 毒性等量。ダイオキシン類は種類ごとに毒性が異なるため、最も毒性の強いダイオキシンとされる 2,3,7,8 - TCDD の毒性にその他のダイオキシン類の毒性を換算して評価します。